

アプリケーションサーバでの enableDelayQuickReinviteの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[確認](#)

[トラブルシュート](#)

概要

このドキュメントでは、アプリケーションサーバ(AS)がACKの後にre-INVITEを非常に速く送信しないようにenableDelayQuickReinviteを設定する方法について説明します。

前提条件

- セッション開始プロトコル(SIP)に関する基本的な知識
- ASの基礎知識
- BWCLIの基本的な知識

要件

- AS bwcliとadminユーザを使用できること
- AS XSLogsを確認できるようにする

を実行する 結果 コマンドを使用して、両方のパラメータの現在の値を確認します。

デフォルト enableDelayQuickReinvite は無効(false)で、デフォルト値は delayQuickReinviteMilliseconds は1000 (1000ミリ秒、つまり1秒) です。

読みやすくするため、getコマンドの出力の一部を省略しています。

```
<#root>
```

```
AS_CLI/Interface/SIP>
```

```
get
```

```
...
```

```
enableDelayQuickReInvite = false  
delayQuickReInviteMilliseconds = 1000
```

...

delayQuickReInviteMillisecondsパラメータを設定します。

デフォルト値をそのまま使用するか、環境に最も適した値を使用します。

可能な限り小さい値を使用します。まず100ミリ秒の値から始め、問題が解決できるまで値を増やします。

```
<#root>
```

```
AS_CLI/Interface/SIP>
```

```
set delayQuickReInviteMilliseconds 100
```

```
...Done
```

delayQuickReInviteMillisecondsの値を設定した後、enableDelayQuickReInviteを有効にします。

```
<#root>
```

```
AS_CLI/Interface/SIP>
```

```
set enableDelayQuickReInvite true
```

```
...Done
```

確認

設定が完了したら、コールシナリオを再度実行して、ASがACKとre-INVITEの間に遅延を追加することを確認します。

たとえば、ASが100ミリ秒を追加するように設定されている場合、遅延は少なくとも100ミリ秒以上になると予想されます。

通常は100ミリ秒で、ACKとre-INVITEが誤った順序で受信されることはありません。

この値は、ネットワーク環境と信号パス内の関連するSIPエンティティに基づいて、より高くなる可能性があります。

トラブルシューティング

それでもデバイスが500エラーコードで応答し、ACKとre-INVITEが正しい順序で配信されている

場合は、デバイスをさらに調査する必要があります。

ASでXSLogsを使用して、ASに遅延が追加されたことを確認します (設定に従います) 。

パケットキャプチャまたはデバイスログを使用して、メッセージが正しい順序で配信されるだけの十分な遅延が発生したことを確認します。

これは、ASがACKを送信した直後にre-INVITEを送信する場合にのみ機能することに注意してください。

ASがACKを受信して、ASがre-INVITEを送信する場合は機能しません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。